

# 2010年3月期 第3四半期決算説明会

---

2010年3月11日(木)  
日本ハム株式会社

## 目 次

1. 2010年3月期 第3四半期連結業績の総括
2. 2011年3月期以降の見通し
3. 2010年3月期 第3四半期財務データ

## 2010年3月期 第3四半期連結業績の総括

1. 2010年3月期 第3四半期連結業績概要
2. 2010年3月期 第3四半期連結業績概要《所在地別セグメント状況》
3. 2010年3月期 第3四半期連結業績ハイライト
4. オペレーティング・セグメント情報
5. 営業利益の第3四半期実績前年差の要因分析および上期・通期計画
6. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部
7. オペレーティング・セグメント情報 食肉事業本部
8. オペレーティング・セグメント情報 関連企業本部
9. 海外 主要地域別業績実績

# 2010年3月期 第3四半期連結業績概要

(単位:百万円、%)

《連結業績》	2009年3月期実績			2010年3月期実績及び計画					
	上期 累計実績	第3Q 累計実績	通期 累計実績	上期 累計実績	前年比	第3Q 累計実績	前年比	通期 修正計画	前年比
売上高	535,705	818,440	1,028,449	474,973	△ 11.3	742,439	△ 9.3	955,000	△ 7.1
ハム・ソーセージ	65,054	110,705	138,876	66,636	2.4	110,054	△ 0.6	138,000	△ 0.6
加工食品	94,690	145,607	187,456	92,655	△ 2.1	145,763	0.1	191,000	1.9
食肉	307,285	453,628	566,423	250,498	△ 18.5	383,232	△ 15.5	496,000	△ 12.4
牛肉	113,950	167,356	206,902	95,202	△ 16.5	144,075	△ 13.9	185,500	△ 10.3
豚肉	115,449	169,454	213,838	92,998	△ 19.4	142,101	△ 16.1	184,000	△ 14.0
鶏肉	66,877	99,638	123,874	50,229	△ 24.9	79,651	△ 20.1	102,500	△ 17.3
その他食肉	11,009	17,180	21,809	12,069	9.6	17,405	1.3	24,000	10.0
水産	41,438	66,406	83,759	39,908	△ 3.7	64,838	△ 2.4	82,000	△ 2.1
乳製品	10,936	16,824	22,215	11,344	3.7	16,933	0.6	22,000	△ 1.0
その他	16,302	25,270	29,720	13,932	△ 14.5	21,619	△ 14.4	26,000	△ 12.5
売上原価	430,975	658,367	833,564	380,453	△ 11.7	586,939	△ 10.8		
売上総利益	104,730	160,073	194,885	94,520	△ 9.7	155,500	△ 2.9		
売上総利益率	19.5%	19.6%	18.9%	19.9%	0.4	20.9%	1.3		
販売費及び一般管理費	84,477	131,728	173,468	85,764	1.5	132,279	0.4		
営業利益	20,253	28,345	21,417	8,756	△ 56.8	23,221	△ 18.1	24,000	12.1
税引前利益	11,379	14,322	6,287	8,520	△ 25.1	22,602	57.8	20,000	218.1
当期純利益	6,476	7,669	1,657	5,405	△ 16.5	14,078	83.6	12,000	624.2

\* 米国会計基準を組替えて表示しております。

\* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

# 2010年3月期 第3四半期連結業績概要《所在地別セグメント状況》

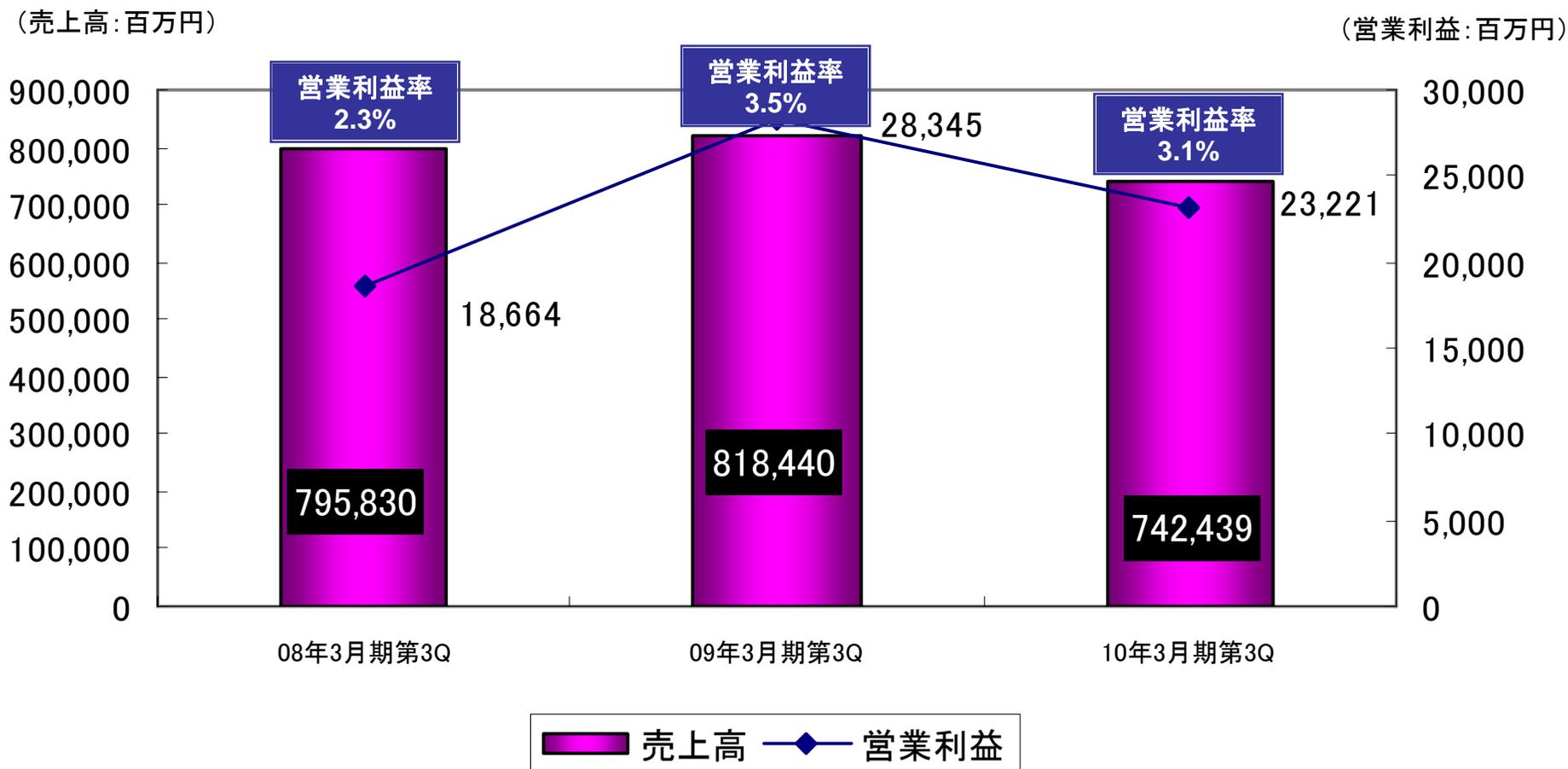
(単位:百万円、%)

《連結業績》	2009年3月期実績			2010年3月期実績及び計画					
	上期 累計実績	第3Q 累計実績	通期 累計実績	上期 累計実績	前年比	第3Q 累計実績	前年比	通期 累計計画	前年比
《所在地別セグメント情報》									
国内売上高	488,595	754,911	953,245	442,465	△ 9.4	694,959	△ 7.9	893,500	△ 6.3
外部顧客売上高	488,098	754,241	952,490	442,215	△ 9.4	694,585	△ 7.9	893,000	△ 6.2
セグメント間内部売	497	670	755	250	△ 49.7	374	△ 44.2	500	△ 33.8
国内営業利益	19,730	29,332	21,248	9,487	△ 51.9	22,289	△ 24.0	-	-
国内売上高営業利益率	4.0%	3.9%	2.2%	2.1%	△ 1.9	3.2%	△ 0.7	-	-
海外売上高	94,671	133,810	161,655	72,168	△ 23.8	107,672	△ 19.5	140,000	△ 13.4
外部顧客売上高	47,607	64,199	75,959	32,758	△ 31.2	47,854	△ 25.5	62,000	△ 18.4
セグメント間内部売	47,064	69,611	85,696	39,410	△ 16.3	59,818	△ 14.1	78,000	△ 9.0
海外営業利益	551	△ 730	411	△ 448	-	1,415	-	-	-
海外売上高営業利益率	0.6%	-	0.3%	-	-	1.3%	-	-	-

\* 所在地別セグメント状況の売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。

\* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

【売上高 営業利益推移】



## ◆オペレーティング・セグメント情報【10月～12月四半期】

(単位:百万円・%)

【10月～12月四半期実績】	2009年3月期 第3四半期実績			2010年3月期 第3四半期実績		
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
加工事業本部	100,823	5,499	5.5	96,357	6,461	6.7
食肉事業本部	178,757	2,007	1.1	163,014	6,785	4.2
関連企業本部	38,389	512	1.3	38,373	1,136	3.0
消去・調整他	△ 35,234	74	-	△ 30,278	83	-
<b>連結合計</b>	<b>282,735</b>	<b>8,092</b>	<b>2.9</b>	<b>267,466</b>	<b>14,465</b>	<b>5.4</b>

※オペレーティング・セグメント情報の売上高と、当資料P.3の品種別の売上高の数値は一致しません。

※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。

※前年度の各セグメントの実績は、一部の子会社の管轄事業部を変更したため、組替再表示を行っております。

## ◆オペレーティング・セグメント情報【4月～12月累計】

(単位:百万円・%)

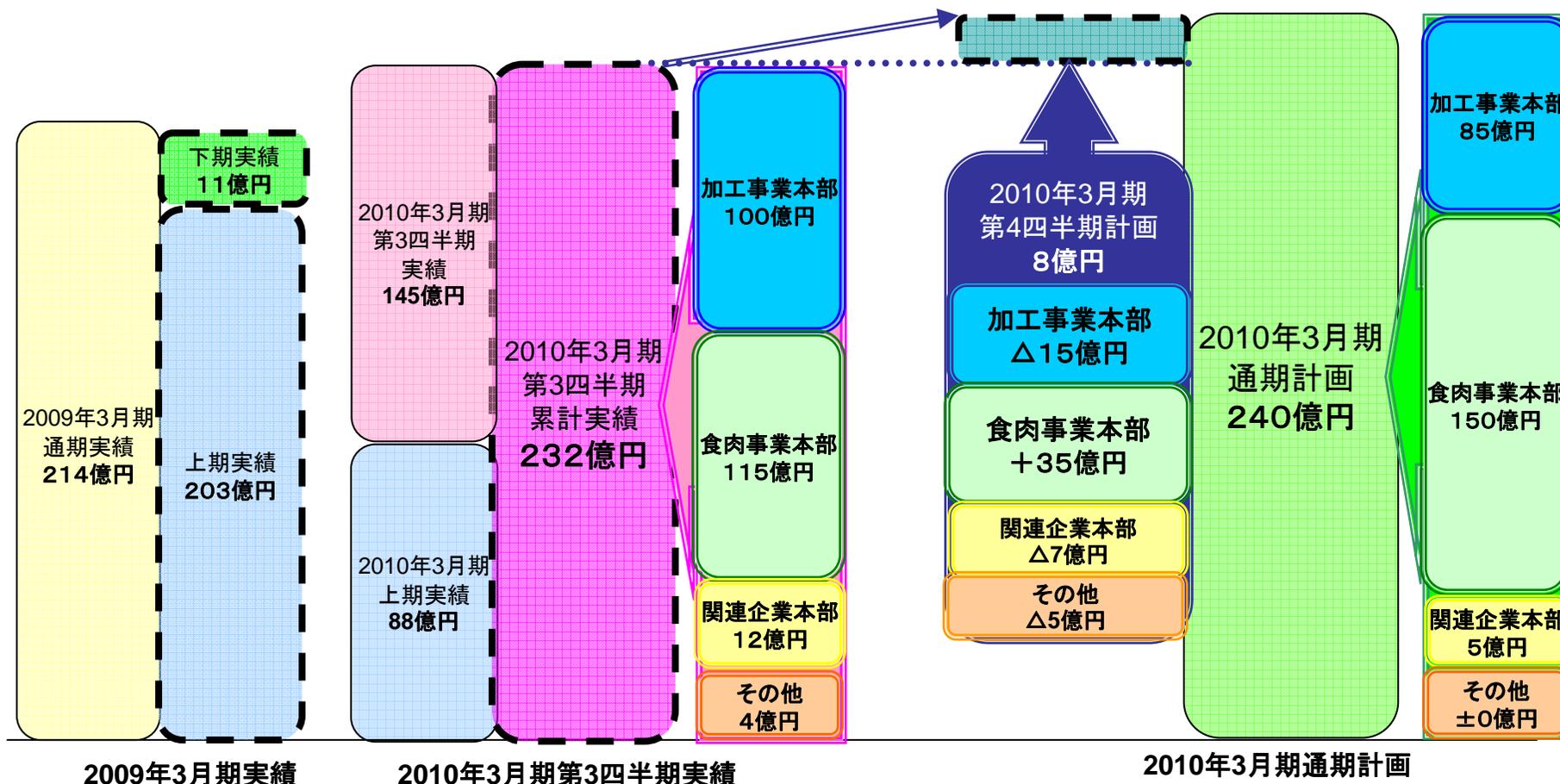
【4月～12月累計実績】	2009年3月期 第3四半期累計実績			2010年3月期 第3四半期累計実績		
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
加工事業本部	263,324	7,227	2.7	256,032	10,022	3.9
食肉事業本部	551,173	19,911	3.6	470,567	11,529	2.5
関連企業本部	103,856	820	0.8	103,800	1,232	1.2
消去・調整他	△ 99,913	387	-	△ 87,960	438	-
<b>連結合計</b>	<b>818,440</b>	<b>28,345</b>	<b>3.5</b>	<b>742,439</b>	<b>23,221</b>	<b>3.1</b>

※オペレーティング・セグメント情報の売上高と、当資料P.3の品種別の売上高の数値は一致しません。

※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。

※前年度の各セグメントの実績は、一部の子会社の管轄事業部を変更したため、組替再表示を行っております。

営業利益 前年差要因分析



	上期 累計実績	第3四半期 実績	第3四半期 累計実績	第4四半期 実績・計画	下期累計 実績・計画	通期 実績・計画
2009年3月期実績	203億円	81億円	283億円	△69億円	11億円	214億円
2010年3月期実績及び計画	88億円	145億円	232億円	8億円	152億円	240億円
対前年差	△115億円	+64億円	△51億円	+77億円	+141億円	+26億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます。

## 【加工事業本部】

(単位:百万円・%)

【10月～12月四半期実績】	2009年3月期 第3Q実績	2010年3月期 第3Q実績	前年差	増減率
売上高計	100,823	96,357	△ 4,466	△ 4.4
営業利益	5,499	6,461	962	17.5

(単位:百万円・%)

【4月～12月累計実績】	2009年3月期 第3Q累計実績	2010年3月期 第3Q累計実績	前年差	増減率
売上高計	263,324	256,032	△ 7,292	△ 2.8
営業利益	7,227	10,022	2,795	38.7

## 【4月～12月累計売上高の状況】

・加工事業本部トータルでは、対前年増減率△2.8%の減収。

《参考値～全社品種別売上状況～》

- ・ハム・ソーセージは、内食需要の効果もあり売上数量対前年増減率2.6%。金額は対前年増減率△0.6%となった。
- ・加工食品は、第3四半期に業務用を中心に回復し売上数量対前年増減率3.9%。金額も対前年増減率0.1%と、前年を上回った。

## 【4月～12月累計営業利益の状況】

・消費の低価格化の影響で販売単価は下がったが、原材料価格の低減効果と、コスト削減策および営業部門と工場の合理化の効果により、加工事業本部トータルでは対前年増減率38.7%の大幅増益となった。

## 【食肉事業本部】

(単位:百万円・%)

【10月～12月四半期実績】	2009年3月期 第3Q実績	2010年3月期 第3Q実績	前年差	増減率
売上高計	178,757	163,014	△ 15,743	△ 8.8
営業利益	2,007	6,785	4,778	238.1

(単位:百万円・%)

【4月～12月累計実績】	2009年3月期 第3Q累計実績	2010年3月期 第3Q累計実績	前年差	増減率
売上高計	551,173	470,567	△ 80,606	△ 14.6
営業利益	19,911	11,529	△ 8,382	△ 42.1

## 【4月～12月累計売上高の状況】

・食肉相場の回復が遅れているものの、底を打った感があり、累計での売上金額対前年増減率は△14.6%となったが、第3四半期では△8.8%と回復傾向。

《参考値～全社商品別売上実績～》

- ・牛肉は、売上数量対前年増減率+1.0%、売上金額対前年増減率△13.9%。
- ・豚肉は、売上数量対前年増減率△4.6%、売上金額対前年増減率△16.1%。
- ・鶏肉は、売上数量対前年増減率+4.2%、売上金額対前年増減率△20.1%。

## 【4月～12月累計営業利益の状況】

・第3四半期のみでは、食肉相場の回復と、川上事業のコストダウンの効果等で、対前年増減率238.1%と大幅増益に転じた。  
・累計では、売上高の減少による総利益の低下に加え、好調だった前年上期の反動もあり、食肉事業本部トータルで対前年増減率42.1%の減益。

## 【関連企業本部】

(単位:百万円・%)

【10月～12月四半期実績】	2009年3月期 第3Q実績	2010年3月期 第3Q実績	前年差	増減率
売上高計	38,389	38,373	△ 16	△ 0.0
営業利益	512	1,136	624	121.9

(単位:百万円・%)

【4月～12月累計実績】	2009年3月期 第3Q累計実績	2010年3月期 第3Q累計実績	前年差	増減率
売上高計	103,856	103,800	△ 56	△ 0.1
営業利益	820	1,232	412	50.2

## 【4月～12月累計売上高の状況】

・低価格化に対応する一方、販売数量を拡大することで、関連企業本部全体ではほぼ前年並みを確保。

《参考～主な関連会社の状況～》

- ・マリンフーズ : 外食チャネルは苦戦したが、内食需要に対応して量販店チャネルへの販売を伸ばし、前年並みを確保。
- ・宝幸 : チーズ、水産ともに販売単価は下落したが、数量を拡大し、前年並みを確保。
- ・日本ルナ : 主力商品が堅調で、数量、金額とも前年を上回った。

## 【4月～12月累計営業利益の状況】

- ・水産・乳製品とも、売上数量増とコスト削減の効果に加え、原材料価格の低下により、第3四半期に大幅増益。
- ・関連企業本部トータルでは、第3四半期累計では前年差約4億円の改善。

【海外 主要地域別売上高】

(単位:百万円・%)

		2009年3月期 第3Q累計実績	2010年3月期 第3Q累計実績	前年差	増減率
海外計	売上高	133,810	107,672	△ 26,138	△ 19.5
	営業利益	△ 730	1,415	2,145	-
豪州	売上高	53,440	39,660	△ 13,780	△ 25.8
	営業利益	△ 402	△ 1,927	△ 1,525	-
米州	売上高	56,816	48,253	△ 8,563	△ 15.1
	営業利益	△ 737	2,200	2,937	-
その他地域	売上高	26,309	21,606	△ 4,703	△ 17.9
	営業利益	453	1,124	671	148.1

※売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。

(セグメント間取引の消去があるため、海外計は各地域の合計とは一致しません。)

※米州には、北米と南米の事業が含まれます。また、その他海外は、アジア、欧州となっております。

【主要地域別の4月～12月累計売上高の状況】

- ・豪州は、皮革事業の縮小および世界的な牛肉需要の減退と相場の下落の影響により、対前年増減率△25.8%。
- ・米州は、対前年増減率△15.1%だが、第三四半期以降、米国内の豚価上昇もあり、回復傾向。

【主要地域別の4月～12月累計営業利益の状況】

- ・豪州は、生産ラインの効率化などを図ったが、需要減と販売価格相場安の長期化により約19億円の赤字。
- ・米州は、養豚以外の事業が好調に推移。養豚事業もコスト削減の成果が出ており、約22億円の黒字。
- ・アジアを中心とした「その他地域」の収益は約11億円の黒字となり、海外トータルでは約14億円の黒字。

## 2010年3月期 第4四半期以降の見通し

1.加工事業本部の見通し

2.食肉事業本部の見通し

3.関連企業本部の見通し

●売上の拡大策

・歳暮ギフトの状況

⇒好調だった前年度の反動と、景気低迷による歳暮市場の縮小の影響で、全体的に伸び悩み、前年比93%の着地となった。

・主要ブランド・新商品の拡販

【10年3月期第3四半期累計 主要ブランド商品売上高前年比】

シャウエッセン群	107%	中華名菜群	100%
森の薫りウインナー	90%	石窯工房群	96%
ロースハム群	102%	プリフライ群	86%
ベーコン群	108%	ハンバーグ・ミートボール群	98%

・チャネル別の売上状況

【10年3月期第3四半期累計 チャネル別売上金額伸び率】

	コンシューマ	業務用	計
ハム・ソーセージ	101%	96%	100%
加工食品	96%	100%	98%

●2010年3月期の利益増減要因見通し

【原料・資材価格の低減効果額】

・第3四半期時 通期計画 ⇒約71億円

・第3四半期時 累計実績 ⇒約61億円

【加工事業本部トータルでの増減額】

・第3四半期時 通期計画 ⇒28億円の増益を見込む

・第3四半期時 累計実績 ⇒約28億円の増益となった

【ギフト販売個数 09年3月期実績と10年3月期実績】

(単位:千個・%)

	2009年3月期実績	2010年3月期実績	前年比
中元ギフト販売個数	1,694	1,926	114%
歳暮ギフト販売個数	5,156	4,813	93%
合計	6,850	6,739	98%

⇒TVCM効果もあり、「シャウエッセン」は引き続き好調。「新鮮生活ZERO」シリーズに牽引され、ロースハム群も好調に推移。加工食品は、「石窯工房」、「プリフライ」は第3四半期以降、数量ベースでは前年を上回っているものの、単価下落の影響などにより、金額面では前年を下回った。

⇒内食志向の効果もあり、ハム・ソーセージは好調。加工食品も、第2四半期以降業務用の拡販を図り、コンシューマー、業務用とも前年並みまで回復。

	2010年3月期 第2四半期時 通期計画	2010年3月期 第3四半期時 通期見込み修正	2010年3月期 第3四半期累計実績
コストダウン要因合計	72億円	112億円	93億円
主原料価格縮小額	60億円	71億円	61億円
(内訳)主原料価格縮小額	37億円	52億円	43億円
(内訳)資材価格・物流費等縮小額	13億円	19億円	18億円
製造部門等の改善活動効果額	15億円	42億円	33億円
構造改革効果額	5億円	5億円	5億円
売上増による効果額	2億円	△6億円	△6億円
コストアップ要因合計	△48億円	△84億円	△65億円
販促・商品リニューアル等費用額	△25億円	△51億円	△38億円
TVCM投入費用額	△5億円	△5億円	△5億円
システム物流拠点初期導入費用額	△18億円	△18億円	△12億円
その他	-	△10億円	△10億円
合計	30億円	28億円	28億円

## ●海外事業の現状

### ◆豪州事業の現状

⇒世界的に、牛肉、皮革とも需要の減退と相場下落により、厳しい状況が続く。

### ◆米州事業の現状

⇒米国内の需給バランスが整い始め、豚生体相場も、徐々に回復。

## ●海外事業の見通し

### ◆豪州事業の見通し

⇒海外マーケットが回復するまで、更なるコストダウンと販売強化に取り組む。

### ◆米州事業の見通し

⇒テキサスファームの生産性の改善や、飼料コスト低減に取り組み、利益拡大を図る。

## ●国内生産事業の現状

### ◆飼料価格の現状

⇒今期に入ってから安定的に推移。

### ◆国内ファーム事業の現状

⇒年末の需要期にかけて、鶏肉は相場が回復。豚肉は依然として供給過多で厳しい状況。

## ●国内生産事業の見通し

### ◆飼料価格の見通し

⇒今期中は、現状を維持する見通し。  
来期以降については、不透明な状況。

### ◆国内ファーム事業の見通し

⇒鶏肉は、需要のピークを過ぎ、相場が下がる見込み。  
豚肉は、生産性の改善や飼料価格の低減に取り組むが、厳しい状況が続く。

## ●販売会社の現状

⇒販売価格が下落する中、数量の拡大を図り、利益を確保。

## ●販売会社の見通し

⇒引き続き販売数量の拡大、シェアUPを図り、利益を確保する。

●水産事業の現状

- ・消費者の生活防衛意識が高まる中、内食需要が増加。  
一方、外食チャネルでは、高価格商品が敬遠され減少。

【10年3月期第3四半期累計 マリンフーズ(株)チャネル別売上伸び率】

	対前年比	
	売上数量	売上金額
寿司店	105%	95%
量販店	115%	105%

●今後の方針

- ・寿司種については、更なる内食需要の取り込みを図り、量販店チャネルでの拡販を図る。
- ・価格競争が激化している外食チャネルについては、シェア向上により、利益確保を図る。

●乳製品事業の現状

- ・チーズは、販売価格が低下しているが、売上数量は前年比122%と伸長。
- ・ヨーグルトは、主力商品の拡販効果により、好調に推移。

【10年3月期第3四半期累計 商品別売上伸び率】

	対前年比	
	売上数量	売上金額
チーズ	122%	97%
ヨーグルト	101%	106%

●今後の方針

- ・チーズは、販売数量の拡大を図り、製造部門の稼働率を上げ、コスト競争力を強化する。
- ・ヨーグルトは、主力の「バニラヨーグルト」、「脂肪0%」を中心に、量販店チャネル及びコンビニエンスストア向けの販売を強化する。

●主原料・副資材価格の動向

- ・チーズは、足元の価格は落ち着いている。
- ・ヨーグルトについては、原料価格は安定している。

●今後の見通し

- ・来上期は、チーズの原料価格が上昇する見込みだが、今期中はほとんど影響は出ない見通し。
- ・ヨーグルトについては、現状維持の見通し。

## 2010年3月期 第3四半期財務データ

1. 販管費・その他収益・その他費用
2. 貸借対照表、設備投資額・減価償却費

## 連結業績概要(販管費・その他収益・その他費用)

(単位:百万円、%)

《販管費》	2009年3月期	2010年3月期 第3Q実績	2010年3月期 対前年増減率	2010年3月期 対前年増減額
	第3Q実績			
販売費及び一般管理費	131,728	132,279	0.4	551
人件費	52,263	51,690	△ 1.1	△ 573
販売促進費	12,219	13,312	8.9	1,093
物流費	28,564	27,850	△ 2.5	△ 714
その他	38,682	39,427	1.9	745

### 主な増減要因

- ・販管費は前期比約6億円増加、販管費率は16.1%から17.8%と1.7ポイント増加。
- ・販売促進費 : TVCM、新聞広告等の広告宣伝費が約11億円増加。
- ・物流費 : 運賃の減少等により、約7億円減少。

(単位:百万円、%)

《連結その他収益・その他費用》	2009年3月期	2010年3月期 第3Q実績	2010年3月期 対前年増減率	2010年3月期 対前年増減額
	第3Q実績			
その他収益合計	1,134	4,075	259.3	2,941
受取利益・配当金	866	460	△ 46.9	△ 406
為替差益	-	3,573	-	3,573
その他	268	42	△ 84.3	△ 226

支払利息	1,971	1,606	△ 18.5	△ 365
その他費用合計	13,186	3,088	△ 76.6	△ 10,098
有価証券評価損	458	2,210	382.5	1,752
固定資産減損	1,401	599	△ 57.2	△ 802
特別退職金	1,721	111	△ 93.6	△ 1,610
為替差損	9,500	-	-	△ 9,500
その他	106	168	58.5	62

### 主な増減要因

- ・その他収益 : 為替差益は主として海外子会社の円建て借入金換算差益。

## 連結業績概要(貸借対照表、設備投資額・減価償却費)

(単位:百万円、%)

《連結貸借対照表》	2009年3月期 期末実績	2010年3月期 第3Q実績	対前期末 増減率	対前期末 増減額
資産合計	583,684	609,991	4.5	26,307
現金及び現金同等物	41,323	39,612	△ 4.1	△ 1,711
売上債権	102,791	150,666	46.6	47,875
棚卸資産	115,765	102,872	△ 11.1	△ 12,893
投資及びその他の資産	29,345	29,068	△ 0.9	△ 277
有形固定資産	232,862	228,521	△ 1.9	△ 4,341
長期繰延税金資産	18,779	18,414	△ 1.9	△ 365
負債合計	311,308	326,648	4.9	15,340
支払手形及び買掛金	85,377	103,384	21.1	18,007
有利子負債	168,950	164,731	△ 2.5	△ 4,219
退職金及び年金債務	23,259	22,261	△ 4.3	△ 998
当社株主資本	270,439	281,291	4.0	10,852
非支配持分	1,937	2,052	5.9	115
資本合計	272,376	283,343	4.0	10,967

### 主な増減要因

- ・棚卸資産 : 主として食肉在庫の減少により約129億円減少。
- ・売上債権 : 季節変動要因による増加。ただし、対前年同期比では約78億円減少。
- ・有利子負債 : 一部子会社の短期借入金の減少により約42億円減少。

(単位:百万円、%)

《設備投資額、減価償却費》	2009年3月期	2010年3月期			2010年3月期
	第3Q累計実績	第3Q累計実績	対前年増減率	対前年増減額	通期計画
設備投資額	15,838	14,695	△ 7.2	△ 1,143	23,500
生産設備	6,419	7,260	13.1	841	9,400
販売・物流設備	2,338	1,729	△ 26.0	△ 609	4,000
ファーム・処理設備	2,387	2,493	4.4	106	5,200
海外事業設備	1,265	564	△ 55.4	△ 701	1,800
その他設備	3,429	2,649	△ 22.7	△ 780	3,100
減価償却費	17,631	17,976	2.0	345	23,400

お問合せ先  
〒141-6014 東京都品川区大崎2-1-1  
ThinkPark Tower 14階  
日本ハム株式会社 広報IR部  
電話:03-6748-8024  
FAX:03-6748-8189

### 見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。従って、これら業績見通しのみで全面的に依拠することはお控え頂きますようお願い致します。また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。